

市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行
市川市選挙管理委員会

次世代を 導く一票 僕たちで

令和3年度 明るい選挙啓発標語作品 最優秀賞

市川市長選挙 選挙公報

投票日

3月27日(日)

午前7時から午後8時まで

市内78投票所

<期日前投票期間> 3月21日(月)～3月26日(土)

期日前投票所 (ご都合のよい投票所をご利用ください)

午前8時30分～午後8時	市役所第1庁舎、行徳支所、大柏出張所
午前10時～午後8時	ダイエー市川店、イオン市川妙典店、ニッケコルトンプラザ、いちかわ情報プラザ、市川駅行政サービスセンター、南行徳市民センター
午前10時～午後6時	信篤公民館、東部公民館、西部公民館、曾谷公民館、中山清華園管理棟

※ダイエー市川店のみ3/23(水)～3/25(金)は午後9時まで

選挙に関する情報はこちらから➡



市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行
市川市選挙管理委員会

家庭内介護から市政へ！

① 子育てがしやすいまちづくり

- ・児童虐待防止のために、児童相談所の機能強化
- ・常に待機児童ゼロのための保育所整備
- ・放課後児童クラブの拡充

② お年寄りや障がいを持っている人が安心して暮らせるまち

- ・高齢者の就労促進や社会参加の機会拡充
- ・医療、介護の連携による地域包括ケアシステムの構築
- ・地域福祉活動を担う人材（ボランティア）の育成

③ 災害に強い安全、安心なまちづくり

- ・空き家等対策事業の推進
- ・押切橋工事の推進

④ にぎわいあふれる発展し続けるまち

- ・京成線の整備：本八幡駅の駅前広場の整備着手
- ・市道整備：市内渋滞緩和のため交差点改良事業の推進

⑤ 緑にあふれ、豊かな産業が育つまち

- ・市川産農産物のブランド力の向上
- ・商工会と協力、連携した商工業振興への取り組み

【略歴】

平成3年3月 柏市立柏高等学校 卒業
同年4月 父親の経営する電気工事に就職。
以降 結婚し出産、4人の子育てをしながら会社勤務をしてきました。
子ども達もだいが手がかからなくなったある日。
父親が病で倒れ介護が始まりました。

「子育てから介護へ」

子育てと家庭内介護の両立。「社会的弱者」を守るために日々の時間を削り生きてきました。
その間、介護保険制度の仕組みの壁に突き当たり、時には制度に「助けられ」時には制度に「切り捨てられ」さまざまな問題にぶつかる度に苦しみ、悩みました。母親とともに一生懸命、介護を尽くしてきました。
昨年、残念ながら父親が死去。
現在は、母親の見守り介護や通院などに時間を割かなくてはならないため、比較的時間の融通が利く派遣社員として働き、収入を得ながら家族との関係を大事にしています。



市川まみ

市川市長選挙 NO!

市川市長選挙 NO!

安心して 住み続けられる街へ

市川市長への宿願は、

② 子どもの医療費助成制度を18歳まで拡げます

- 所得制限は設けず、子どもの医療費助成を18歳まで拡大

⑤ デジタル時代に即した行政改革に取り組みます

- DXの更なる推進
- 電子市役所の実現へ
- 文化芸術分野でのICT活用

⑦ 新クリーンセンターで電気を作ります

- 環境に負荷を与えないクリーンセンターの建て替え
- ゼロ・カーボンシティの実現へ

⑨ 市内で働くことを支援します

- スモールビジネスや新規就農者の支援
- 夜間保育・送迎体制を整備
- 先端企業との連携強化

③ 学校校庭の人工芝化を進めます

- 新たなサッカー場と野球場整備
- スポーツ習い事の助成制度創設
- パラスポーツの拠点づくり

⑥ 市内全域の公園整備を進めます

- 市川塩浜駅前に総合公園整備
- 江戸川河川敷道路を気持ちの良い散策路に整備
- 里見公園・須和田公園・北部スポーツ施設リニューアル

⑧ 土地の有効活用を行います

- 都市計画・用途地域の見直しに着手
- 外環の残地取得や国有地の払い下げを進め土地の有効活用を

⑩ 行徳をさらに豊かにします

- 新たな総合防災拠点を整備
- 行徳駅前整備
- 押切橋を早期に架橋し、江戸川水閘門を更新

① 学校給食を無償化します

- 所得制限は設けず、中学校の給食費を令和4年9月から無償化
- 公私間格差が生じないよう、私立に通う子ども達の支援も実施

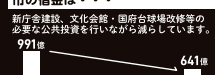
④ 4回目の迅速なワクチン接種で市民を守ります

- 次の波に備え、市独自の支援を実施（PCR検査の拡大、後遺症対策、保育園休園時のサポート等）

4年間で市川市はどう進化したか？

財政の健全化 ① 借金の削減

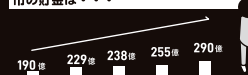
市の借金は・・・



新庁舎建設、文化会館・国府台球場改修等の必要な公共投資を行いながら減らしています。

財政の健全化 ② 貯蓄の最大化

市の貯金は・・・



税収増加 / 待機児童0人達成 / 不妊治療支援2年間で2倍に / 災害協定51件締結 / ゴミ回収週3回に / 体育館利用料を1/3に・・・

プロフィール

- ・1974年2月13日 市川市宮久保生まれ(48歳)
- ・富貴島幼稚園卒園、昭和学院小学校、市川学園市川中学校・高等学校、青山学院大学国際政治経済学部卒業
- ・2003年千葉県議会議員、2003年～衆議院議員(2回当選)、2012年外務大臣政務官、2013年～民間企業の顧問を複数勤め、2018年～市川市長
- ・好きな音楽：80年代の洋楽、パンク、高倉健
- ・得意な事：アイロン掛け、溪流釣り、包丁研ぎ
- ・尊敬する人物：大塩平八郎、チェ・ゲバラ、亀井静香



むらこし
村越ひろたみ 48歳

市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行
市川市選挙管理委員会

市民の命と暮らし、経済を全力で守ります！

片岡きょうこ

元市川市議会議員 自由民主党

早稲田大学大学院政治学研究科修了
1979年生まれ、43歳
三菱UFJリソースで6年間、総合職として金融とビジネスの経験を積み、三菱地所に5年間、都市の再開発・ブランディングに携わりました。みずほ銀行にて海外支店サポート業務に従事。ロンドンでの子育ても経験。
趣味は、読書・料理・登山・子供と一緒に農業の手伝いをする事です。
私は新しい時代が始まっていることを感じています。市川の行政にも、新しい時代の意識と民間感覚を取り入れます。そして税負担を減らし、未来への投資を進めていきます。

政策・経歴
詳細は
こちら
▶▶▶



1 「子ども」と「子育て世帯」に投資します。

- 「産後ケア」産後の家事・育児支援・メンタルサポートを充実させます。
- 「負担軽減」子育て世帯の養育費・教育費の負担を軽減させます。
- 「送迎不要」送迎保育ステーションを実現させます。
- 「給食無料」小・中学校の給食費を無料にします。

3 「命」を守り「稼ぐ」市川の実現を進めます。

- 「市民病院」を作り、小児救急の実現とハイリスク出産に備えます。
- 「安全道路」バギーでも車椅子でもスムーズに進める広い歩道を整備します。
- 「企業誘致」先端企業や研究機関・医療系大学を誘致し、税収を増やします。
- 「農業推進」観光・教育農園で市内外から人を引き、農産物のPRを促進します。

2 「市民ファースト」で市政を活性化させます。

- 「情報公開」市政の積極的情報公開で意思決定の透明化を図ります。
- 「市民参加」市議会で市民が直接「提案」・「要望」できる仕組みを作ります。
- 「集会場」を全自治会に設置し、シニアの活動拠点を増やします。
- 「中核市化」で障がい者手帳発給や、母子・寡婦福祉資金の貸し付けの迅速化を実現します。

4 「街の再開発」で可能性あふれる都市空間へ変貌させます。

- 「防災強化」浸水対策を強化し、災害に強い基盤整備を進めます。
- 「魅力アップ」再開発を通して土地の価値を増大させます。
- 「緑地保全」生物の多様性を維持し、ヒートアイランド現象を緩和します。



片岡
きょうこ
かたおか

いきいきいちかわ 笑顔かがやくまちづくり6つの柱

安心・安全の上に「いきいき」は成り立つ。

安心・安全な環境のもと、人は力を発揮できます。
「信頼」は、安心の大切な要素。行政の責務に立ち返り、市民との信頼関係を再構築することから着手します。

01ひとがいきいき

- 生まれる前からシニアまで、すべての市民がいきいき暮らせるまち。
- ◆ 切れ目のない子育て支援、相談体制の拡充（給食費無償化等）
 - ◆ 健康寿命の延伸、高齢者支援の拡充
 - ◆ 障がい者支援の拡充
 - ◆ 市内各所に多目的トイレ設置

02まちがいきいき

- 命と暮らしを守る備えを強化。
- ◆ 避難所の冷暖房整備を含む防災体制の総点検と拡充
 - ◆ コロナ等医療体制の万全化
 - ◆ 県との連携迅速化
 - ◆ 在宅コロナ療養者への配食サービス拡充
 - ◆ 踏切付近の混雑解消（地下道の設置等）

03産業がいきいき

- 商店や企業、農水産業、また、新たな起業家を支援し、産業を活性化。
- ◆ 起業支援
 - ◆ テレワーク支援
 - ◆ 農水産業、中小企業、商店への支援拡充
 - ◆ 市内の事業者との連携を強化
 - ◆ 市民の市内観光促進

04自然がいきいき

- 水辺と緑、市川の多様な自然の豊かさを満喫できる環境を整備。
- ◆ 水辺を活かしたまちづくり
 - ◆ 公園・緑地の拡充、道路・公共施設の緑化
 - ◆ リサイクル強化等環境保全の推進
 - ◆ 食育・地産地消の推進
 - ◆ 動物虐待対策・動物愛護の推進

05文化がいきいき

- 彩り豊かな文化を生かして、「文教都市市川」を振興。
- ◆ 文化・歴史資産の活用、文化教育の推進
 - ◆ 図書館機能の拡充
 - ◆ 景観保全の推進
 - ◆ 文化・芸術活動支援
 - ◆ スポーツ環境の充実、スポーツ振興

06市役所がいきいき

- 市民も職員も大切にできる市役所へ改革。
- ◆ 行財政改革を推進
 - ◆ 財務状況を含めた情報公開の徹底
 - ◆ データを用いた行政ICT化推進
 - ◆ 市民との対話集会の実施
 - ◆ 市長専用公用車の廃止



無所属
守屋貴子
54才

市民とともに
創る市川

市川のまちづくりに関わって15年 市川市議2期・千葉県議2期

1968年3月5日生まれ、市川市大洲出身。双葉幼稚園、市川市立鶴指小、市川市立第八中、千葉県立市川比高、聖徳学園短期大学卒。清水建設㈱に入社し、まちづくりの基本を学ぶ。転勤族の子育て経験から、支援の必要性を痛感し政治の世界へ。市川市議2期、千葉県議2期、計15年に渡り市政・県政に携わる。夫・一男一女の4人家族。市内東菅野在住。 <https://moriya-takako.jp>



市川市長選挙公報

令和4年3月27日執行
市川市選挙管理委員会

「経済人」だからできる市政がある。

—— 政治家として17年、経済人として20年 ——

どう！と決めたら

4つの重点施策

1 身を切る改革で市民に寄り添う

- まずは市長の退職金CUT! 退職金を辞退いたします。
- 市民に寄り添うタウンミーティングの開催をします。

2 子どもたちに明るい未来を

- 「幼保・小・中」をクロスフェード化する取り組みを進め、ギャップの解消に努めます。
- 家庭における仕事と子育ての両立支援（ベビーシッター・家事支援・病児保育など）と補助金制度の創設をします。
- 発達に課題のある子どもと家庭への全力支援します。

3 健康寿命日本一へ

- シルバーパスを導入し、お年寄りの外出をサポートします。
- 健康マイレージの普及で健康増進をはかります。
- 認知症に対する理解を深め、認知症予防を推進します。

4 デジタル地域通貨で地域力をアップ

- コロナ対策の一環として手から（手に）お金を触らないようデジタル通貨の普及に努めます。
- 地域通貨の創設を視野に入れた活動の推進をいたします。

7つの基本政策・全60項目をWebにて公開中 www.koh-tanaka.jp

衆議院議員3期・県議会議員2期・市議会議員1期

1957年市川市生まれ、日出幼稚園・小学校、立教中学・高校・大学を卒業。民間企業を経て、1987年市川市議会議員初当選以降、千葉県議会議員（2期）衆議院議員（3期）と地方政治から国政まで17年間勤める。（7回中5回がトップ当選!）その後は地元市川市にて経済人として20年、企業の役員として今も現役活動中! 衆議院議員の同期には、元内閣総理大臣 安倍晋三氏、第100代内閣総理大臣 岸田文雄氏、第55代自民党幹事長 茂木敏充氏など多数。

お約束

悪いことはせん
田中 甲



田中 甲

○宮沢賢治「オズベルと象」
“みんな出てきて助けてくれ”
○魯迅「故郷」
“歩く人が多くなれば、それが道になるのだ”

希望をもって生き
勇氣をもって進む
と公約し、細案は別に定め

- ・群馬県片品村出身 68歳
- ・武尊（尾瀬）高校 法政大学卒業
- ・市川市内中学校教諭38年間
- ・東菅野5丁目自治会長
- ・市川市バレーボール協会副会長
- ・投票率50%以上
- ・無駄な〇〇はSSY→楽しむ

人々が抱く不安・不満・不信を一刻も早く
解消する道すじを示す必要あり。
信頼される市政は信頼できる人々によって
進めることが理想（常識）です。

一、教育環境の整備と充実を急ぎ
一、福祉環境の整備と充実を進め
一、楽しく、生きがいのある地域を実現する

そこで



吉野 一郎